

委員会レポート

Committee reports



各常任委員会に付託された案件について、審査した内容と結果を掲載しています。

総務環境 常任委員会

◎松元 深 己清 ○宮内 博 前島 広紀 山田 龍治 新橋 実 久保 史睦 下深迫孝二 川窪 幸治 ◎委員長 ○副委員長

●審査した議案を掲載しています。

議案第2号	霧島市手数料条例の一部改正について	全会一致で可決
議案第8号	霧島市温泉を利用した発電事業に関する条例の一部改正について	全会一致で可決
議案第13号	第二次霧島市総合計画基本構想について	賛成多数で可決
議案第16号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画について（上之段地区）	全会一致で可決
議案第17号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画について（宮川内・稲荷地区）	全会一致で可決
議案第18号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画について（山ヶ野地区）	全会一致で可決

問 市長は発電事業者から提供を受けた情報の公開に努めるものと規定しているが、これは発電事業者が情報を提示したなかで同意をしないものは公開できないという認識でいいか。

答 情報の収集、公開については、検討委員会を経て、市が同意をして発電に至るまでの段階、あるいは発電後に市へ提出される情報等については公開していくことにな

霧島市温泉を利用した発電事業に関する条例の一部改正

市長の同意を得るべき行為や事業計画の提出期限、同意に係る要件を明確化することや、同意を得た発電事業者の各種報告、届出等の義務付け、市による情報の収集及び公開の推進に係る規定を盛り込むことなどにより、温泉資源の適切な保護及び適正な利用を図るため、所要の改正をするものとの説明。

問 第二次総合計画基本構想で、大きく変わった点や特筆する部分は何か。また、市長の思いを取り込んだ部分はあるか。

答 基本構想は経済のグローバル化や情報通信網の発達に伴うさまざまな展開を盛り込んでいる。市民参画のもと公共的な計画、市民総意で作った計画と位置づけ、そのなかで市長の公約も盛り込んでいる。

第二次霧島市総合計画基本構想

現行の第一次霧島市総合計画基本構想の計画期間が平成29年度をもって満了するため、平成30年度から10年間の霧島市政の基本的な運営指針となる第二次霧島市総合計画基本構想について、議会の議決を求めるものとの説明。



宮川内・稲荷地区の現地調査

辺地に係る公共的施設の総合整備計画

市道の整備を行うことで、上之段地区、宮川内・稲荷地区、山ヶ野地区の住民の利便性の向上と地域の活性化を図るものとの説明。

答 急カーブ部分は、山側の斜面を切って拡幅したり、構造物等を作って拡幅することで、カーブを緩やかにする整備方法がある。

▼該当する用地交渉は、早めに地権者に連絡し、工事が早期に完成するように進めてほしいとの意見がありました。

平成29年度 一般会計補正予算

第6号 10億9501万2千円

第7号 14億2190万4千円

第8号 7億6724万7千円を追加

総額 618億2031万4千円

歳入予算では、地方交付税や繰越金の未計上額等の一般財源と各事業の実施に伴う国庫支出金等の見込みの特定財源を計上。歳出予算では、決算見込みによる事業費や人件費の調整のほか、関係基金への積立や土地開発公社解散プランに基づく土地の買戻しを行うための経費、さらには国の補正の内示を受け、新年度で予定していた小中学校の大規模改修事業などを前倒しで実施する経費、保育士の処遇改善のための経費などを計上し、歳入歳出それぞれ32億8416万3千円を追加し、補正後の総額を歳入歳出それぞれ618億2031万4千円とした。また、繰越明許費、債務負

牧園総合支庁庁舎建設事業

問 牧園総合支庁建設事業費8140万円余りを減額した理由は何か。

答 土地購入と関連施設の解体工事は、今年度執行した。残りは用地の造成工事を行う予定であったが、敷地への出入り口の位置、箇所数、幅員の検討など、県などの協議に時間を要したため、今年度内着工が困難となったためである。平成30年度予算で改めてお願いしている。

子どものための教育・保育給付事業

問 子どものための教育・保育給付費の今回の給付拡大については、どのようなことを期待しているのか。

答 保育士の確保が困難ななかで、在籍者の処遇

ふるさと納税促進事業

問 年度末の寄付金は、

どれくらいを見込んでいるのか。また、返礼品のコストは何%を占めるのか。

答 当初で2億2000万円を計上した。9月補正で2億円、今回、1億3800万円追加している。対前年度比2.37倍の5億5800万円となる。コストについては、返礼品に係るものが3割、広告料等も合わせると全体で4割以内となっている。

放課後児童健全育成事業

問 児童クラブの施設数、児童数は、どの程度増えたのか。

答 3施設、180名の増加となり、全体で56施設、児童数1632名となった。

今回の一般会計補正予算の主な事業

- ふるさと納税促進事業 1億7,665万円
寄附金の増加に伴う返礼品などの経費
- 障がい者補装具給付事業 1,200万円
障がい者に対する補装具の給付に要する経費
- 放課後児童健全育成事業 7,724万円
放課後児童クラブへの補助に要する経費
- 子どものための教育・保育給付事業 2億2,540万円
保育所等への新たな処遇改善加算の創設等の経費
- 衛生施設整備基金積立事業 5億円
衛生施設の整備に係る事業の経費に充てるための基金
- 市有林維持管理事業 3億8,61万円
土地開発公社保有地の買戻し経費等（工業団地と自然公園用地）
- 企業誘致対策事業 1億6,652万円
土地開発公社保有地の買戻し経費等（工業団地用地）
- 常備消防車両管理事業 2,200万円
中央署配備の消防ポンプ自動車の修繕に要する経費
- 総合治水対策事業 3,600万円
雨水管理総合計画の策定に要する経費
- 小学校学校施設整備事業 4億2,480万円
向花小学校校舎大規模改修工事に要する経費
- 中学校学校施設整備事業 7億2,970万円
日当山中学校校舎大規模改修工事に要する経費

改善と安定的な職場づくりを図り、保育士の雇用を増やすことを考えている。

国分運動公園・国分武道館管理運営事業

問 2年後に予定されている国体の競技会場で、特徴的な大規模改修はどんなものがあるか。

答 国分陸上競技場のメインスタンド改修がある。屋根の取替え、会議室増設、トイレ改修などを考えている。

平成29年度 特別会計補正予算

5会計において、国庫支出金の確定や決算見込みによる事業費の調整、人件費の調整などの経費を計上。

国民健康保険特別会計では、4418万円を増額、補正後の総額は184億8520万3千円となった。後期高齢者医療特別会計では、1972

万4千円を増額、補正後の総額は13億6146万3千円となった。介護保険特別会計では、170万6千円を増額、補正後の総額は109億6567万円となった。下水道事業特別会計では、60万6千円を減額、補正後の総額は21億1336万5千円となった。温泉供給特別会計では、545万4千円を増額、補正後の総額は7218万5千円となった。